

企業と環境団体連携

広がるナショナルトラスト

奄美大島の特別天然記念物アマミノクロウサギがすむ森を守ろうと、環境保護団体と大企業による連携の動きが出ている。資金援助を求める団体側と自然保護への協力姿勢をアピールしたい企業側の狙いがかみ合った格好で、国内では異例の大口寄付も実現した。団体側は「イヌワシ、ツシマヤマネコといった希少種の保護にもつなげたい」とさらなる展開に期待を膨らませる。



特別天然記念物のアマミノクロウサギ

「奄美の森」に協会手応え

ズーム

ナショナルトラスト

自然環境や歴史的建造物を開発や荒廃から守るため、寄付を集め土地・建物を取得する取り組み。約100年前に始まったとされ、英国では25万英鎊の田園地帯や350カ所以上の建造物をトラスト団体が管理している。日本では1960年代、鎌倉の森を宅地開発から守るため市民からの募金で買収したのが最初とされる。東北地方のイヌワシクマガラ、北海道の北限のプナタンチョウ、長崎県のツシマヤマネコの生息地などでもトラスト運動の必要性が指摘されている。

団体は「日本ナショナル・トラスト協会」（東京）。今年1月に島の民有地約100畝を買い取り、28区画に分け、出資額に当たる計2千万円の寄付を募った。固有の生態系に富む奄美大島は年内にも世界自然遺産の候補地となる可能性が高く、レジャー施設などの乱開発を防ぐのが狙

いだ。7月26日までに1992万円が集まり、企業を対象とした区画はすべて埋まったという。

●両立
グループ会社が島に唯一就航している日本航空（東京）は、5区画で計422万円を寄付した。命名権が与えられるため「JALア

日本ナショナル・トラスト協会の 所有地一覽



1	阿寒の森	北海道釧路市
2	愛別ヒグマの森	北海道愛別町
3	那須塩原 ヒガラの森	栃木県 那須塩原市
4	木更津・矢那の森	千葉県木更津市
5	日の出の森	東京都日の出町
6	能登・トキの森	石川県穴水町
7	富士山高原	山梨県 富士河口湖町
8	丸子 カモシカの森	長野県上田市
9	安曇野の森	長野県 松川村、池田町
10	長良川清流の森	岐阜市
11	瀬戸川の森	静岡県藤枝市
12	天竜・ ギフチョウの森	浜松市
13	六甲・ ヤマドリ	神戸市
14	有馬の森	神戸市
15	美作・水源の森	岡山県美作市
16	津山・水源の森	岡山県津山市
17	宮古島 サンバの森	沖縄県宮古島市

マミノクロウサギの「森」と名付け、奄美大島と徳之島にしかないといわれる希少なクロウサギの生息環境保全に取り組む考えだ。担当者は「そこに豊かな自然があるからこそ旅を楽しんでもらえ」と、森を守ること

が島への観光客増加にもつなげると強調する。「以前は環境保護と経済性は両立しないという見方が強かった

が、自然の持つ経済的な価値が見直されてきている」

島内のインフラ工事に関わっている大手ゼネコンの大成建設（東京）もメールを全社員に送り、山内隆司社長を含む666人から124万円を集め、別の寄付金と合わせて151万円を提供した。同社は「環境問題を考える上でゼネコンの責任は重い。環境に配慮できない企業」というレッテルは避けたい」としている。

● 転機
企業や個人の寄付金

などで土地を取得し、一帯の自然環境を守る取り組みは「ナショナルトラスト」と呼ばれる。協会が所有する土地は奄美大島を除けば富士山高原（山梨県）など全国17カ所だが、所有者が亡くなり管理できなくなった山林を譲り受けるといった特殊事情に支えられてきた面もあり、面積は計1511畝にとどまる。トラスト運動発祥地の英国の25万畝と比べてわずかだ。

一度に100畝を買い上げ、大企業とのコラボレーションも実現させた今回の奄美大島

は、今後の国内での運動にとって転機となる可能性も。同協会の関係志事務局長は「企業の環境意識も育ち始めており、本格的なナショナルトラスト定着に向けたモデルケースになりそうだ」と手応えを口にしてている。